

施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策№	5-4	施策名	地域文化の振興	施策主管 課長名	福田 富美代
関係課	生涯学習課					

1. 施策の目的

対 象	A 文化財・地域の歴史文化	意 図	A 適切に保存され、その価値を損なうことなく活用されている
	B 地域		B 地域の歴史文化に魅力を感じ、保存・継承している
	C 町民		C 地域の歴史文化を学び、その魅力を情報発信している

2. 成果指標

指標名			単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内文化財の保存・活用事業の件数 (増加) (現状値: H30時点)	件	131		190	190	190	204	207
					126				
②	B 地域の歴史や文化財に親しむ機会を持った方 の人数 (増加) (現状値: H30時点)	千人	1.25		1.31	1.38	1.44	1.51	1.57
					1.39				
③	C 町の歴史文化に興味・関心のある町民の割合 (増加) (現状値: H30時点)	%	10.2		12.5	14	15.5	17	18.5
					7.5				
④									

3. 指標の分析 (成果が向上した、またはしなかった理由)

①	新型コロナウイルス感染症拡大による向羽黒山城跡整備資料室の臨時休館や、小学生を対象とした総合学習の授業の減少などにより目標値を下回った。
②	町内にある指定文化財(特に向羽黒山城跡など)や地域再発見事業の展開により、地域にある文化財や歴史への関心が高まりつつあり、コロナ禍においても目標値を上回ったと考える。
③	町内には多くの指定文化財があり、また地域にある文化財への意識も高まりつつあるが、郷土資料館(仮称)開館準備のために新鶴民俗資料館を閉館したことや感染症対策による向羽黒山城跡整備資料室の臨時休館などにより、町民が文化財に触れる機会が減少したため、目標値を下回った。
④	

4. 課題に対する取組 (今年度重点的に取り組んだ課題)

・新鶴庁舎の郷土資料館(仮称)への改修工事の施工、関係機関との調整、歴史資料の搬入や展示計画の策定に向けた検討を行った。 ・向羽黒山城跡整備事業二曲輪地区を継続整備するとともに、令和2年度に実施した高田館跡発掘調査の報告書を作成した。 ・歴史副読本「知ってる?会津美里の歴史」を校正・再版し、総合学習の授業などにおいて、子どもたちが町の歴史に触れられる契機としての活用を図った。 ・公共ホール音楽活性化事業では、中学生を対象としたアクティビティやコンサートを実施し、町民が本物の音楽に触れられる機会の創出に努めた。
--

5. 次年度の方向性 (施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題)

郷土資料館(仮称)への改修工事の竣工に向けた調整や、歴史資料の展示計画等を策定するなど開館準備を進めるとともに、歴史副読本を活用した子どもたちへの郷土愛を育む学習の機会創出などを継続して取り組む。 令和4年度は、向羽黒山城跡整備事業(二曲輪地区)の最終年度にあたり、各種サイン整備や事業報告書を作成するとともに、関係機関の助言を得て、今後の整備事業計画の見直しを実施する。 また、芸術文化振興のための公共ホール音楽活性化事業の実施や町民文化祭を開催するなど、町民の芸術文化活動の推進を支援する。

6．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5506	地域文化振興事業	969	拡充	現状維持	②生産性改善	○
2	16760	遺跡調査・整備事業	4,030	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
3	16761	文化財保存・活用事業	161,519	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○